

国際芸術祭の成功へ

好評の現代美術作品を鑑賞

党愛知
県議団



豊田市美術館に展示された現代美術の作品を鑑賞する党県議団

国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」(今年8月21日～10月31日)の成功に向け、調査を基に政策提言を行っている公明党愛知県議団(桂俊弘団長)は、このほど、豊田

市美術館を視察した。同トリエンナーレは3年ごとに定期的に開催。初回の今回は「都市の祝祭」というテーマで、現代美術作品の展示や舞台芸術の公演などを予定している。特に現代美術について分かりづらいとの指摘もあり、県民に理解を高め、さらなる取り組みが求められている。そこで県議団は、現代美術の作品を常設展示し好評を博している同美術館を訪ねたもの。

桂団長らは、感覚器官を刺激して身体感覚を揺さぶり自覚めさせる作品を紹介した常設展「知覚の扉」を興味深く鑑賞し、現代美術の魅力を体感。また吉田俊英館長、塚本伸宏副館長と意見交換し、同美術館の発展に期待を寄せた。